NEWS

めまいセンターから地域のみなさまへ

耳鼻咽喉科診療科長　辻 純

めまいセンターでは症状に応じて検査や治療を行なっています。患者さんごとに、個々に応じたオーダーメイドな医療を心がけています。不安のある方はお近くのかかりつけ医にご相談ください。

回転性のめまいをきたす、よくある疾患を紹介します。

❶良性発作性頭位めまい　もっとも多い病気です

どんな病気？

- 朝起き上がったときや、急に頭の向きを変えたときにぐるぐるまわる感じがするめまいで、美容室で仰向けでシャンプーをしてもらって、起き上がるときなどにおきたといわれる方もよくあります。いったん落ち着いても、また体を動かすと繰り返すことが多いです。病名に良性とあるように、大事に至ることは少ないのですが、強い回転感で驚かれる方が多いです。
- 内耳にはバランスを感じる三半規管があり中にリンパ液という液体が入っています。頭を動かすとこの液体が動いてバランスを脳に伝えます。ここに微量の沈着物が入り込んで体を動かすたびに強いめまいを感じます。
- ごく狭い場所の病気なので、めまい以外の症状が無いのが特徴です。もしめまい以外の症状があれば広い範囲の病気ということになるので注意が必要です（難聴・耳鳴り・頭痛・顔面のしびれなど）。

対応策

- 体動でおきるのに、安静にすると重くなる特徴があります。体を動かすと治りやすいので自宅での体操だけで治療になることが多いです（運動で沈着物が移動・分解するからです）。

❷メニエール病　2番目に多い病気です

どんな病気？

- バランスを感じる三半規管と、それにつながっている音を感じるカタツムリ型の蝸牛の両方が影響を受けますので、めまいと難聴が特徴です。
- ストレス・多忙・運動不足と関連があります。ストレスでめまいになり、めまいがストレスになり、まためまいで運動不足になったりと、症状が原因の一部になりがちです。

対応策

- めまいを繰り返すことも多いですが、重大な状態になることは少なく、繰り返す場合も対応がわかってくると間隔が延びていき、治ることが多いです。周りに遠慮をして無理をしてしまう人にもおこりがちです。自分のための時間を作れるゆとりが増えるとずいぶん楽になります。薬よりジョギングなどの定期的な運動が有効であることが知られています。



めまいセンター開設日（予約制）　火曜日、水曜日 9:30～（担当：辻 純・田浦）

京都医療センターへのアクセス

公共交通機関

- 京阪本線「藤森」駅下車 徒歩8分
- JR奈良線「JR藤森」駅下車 徒歩12分
- 京阪バス「京都医療センター」下車すぐ

無料巡回バスのご案内

平日のみ45分間隔で運行

「JR藤森」駅、近鉄・地下鉄「竹田」駅より無料巡回バスを運行しております。

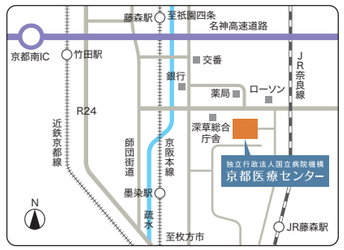
近鉄・地下鉄「竹田」駅 ⇔ 「JR藤森」駅 ⇔ 京都医療センター

※運行は平日のみです（土曜・日曜・祝日は運休）
※交通事情などにより若干のずれが生じることがあります。巡回バスの遅延により外来予約時間に間に合わない場合があっても、当院は責任を負いかねます。
詳細はホームページをご覧ください。

車をご利用の場合

- 名神高速道路の京都南インターから7分

※駐車場は台数に限りがあり、混雑が予想されます。当院へお越しの際は、なるべく公共交通機関・無料巡回バスをご利用ください。



駐車料金のお知らせ

利用者	駐車料金
外来患者 (当日の入退院患者含む) ※診察・検査終了後に割引処理が必要です。	最初30分 無料
	5時間まで300円
	5時間以後 1時間毎に200円加算
お見舞い、付き添いの方 ※当院からご来院をお願いしたご家族を含みます。 ※割引処理が必要です。	最初30分 無料
	1時間まで300円
	1時間以後 1時間毎に200円加算
その他一般利用者	最初30分 無料
	1時間毎に800円加算

※2026年4月1日より、駐車料金を改定いたしました。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

独立行政法人国立病院機構
京都医療センター
National Hospital Organization Kyoto Medical Center

発行元

うづらだより 第155号　2023 Summer
独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 広報戦略室
〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町1-1　TEL：075-641-9161（代表）　FAX：075-643-4325

※掲載内容は発行時点の情報です。 2023.07 初版 / 2026.04 改訂

京都医療センター 広報誌

うづらだより

うづらトピックス

食道裂孔ヘルニアのお話

胸やけがひどくないですか？



お薬トリビア

薬剤師がお薬の疑問を解決！

Volume 155
2023 Summer

独立行政法人国立病院機構 京都医療センター

\ 京都医療センターさん、これ気になります /

うづらトピックス

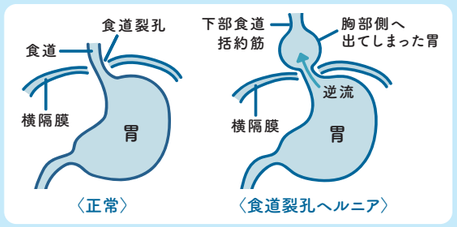
このコーナーでは、毎回身近な病気や医療をテーマに解説します。

今回のテーマ

食道裂孔ヘルニア（胸やけ）

食道裂孔ヘルニアとはどんな病気でしょうか？

胃は通常、横隔膜という筋肉がついたてとなっていて、おなかの中に収まっています。しかし、歳をとったり、背骨が曲がったりして横隔膜が緩むと、横隔膜にある食道が通っている孔（食道裂孔といいます）も広がって、胃が胸の方に飛びだしてくるようになります。その結果、胃の内容物が食道に逆流して炎症をおこし、“胸やけがひどい”、“ご飯が食べにくい”などの症状がでてくる病気です。



代表的な症状 ……



胸やけ



呑酸（どんさん）
（酸っぱいものや苦いものが上がってくる）



ご飯が食べにくい

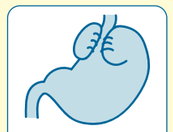
CHECK 上記の症状があれば、どうしたら良いのですか？

まずは、胃カメラの検査を受けることをお勧めします。かかりつけの先生にご相談ください。症状が軽い場合は内服治療が適応になりますが、症状がひどい場合には、CT検査やバリウム検査を追加して詳しく評価します。手術治療を行うことで、症状が大きく改善される方もおられますので、“老化のせい”などとあきらめずに、一度ご相談ください。

先生からのアドバイス

食道裂孔ヘルニアの手術

近年は、お腹に5mmから1cmの穴をいくつか開けるだけの腹腔鏡手術が可能です。胸に飛びだした胃をお腹のなかに引き戻し、緩んだ孔を縫い縮め、胃をマフラーで巻いたような形に縫い合わせて、逆流と再発を防ぐ手術です。当院では適応となる患者さんには積極的に治療を行っています。安心してご相談ください。


トゥペイ噴門形成術


統括診療部長
外科診療科長
畑 啓昭

ピックアップニュース

1 「オプショナルスクリーニング」検査が当院にて受けられます

2023年4月開始

オプショナルスクリーニング検査とは

新生児マススクリーニングの対象となっていない9つ（女児は7つ）の疾患に関する検査です。当院で出産される方全員に希望をお伺いし、希望者に行っています（有料検査）。京都府下では2023年4月現在、当院でのみ受検が可能です。



詳しくは当院ホームページをご覧ください ▶

2 世界骨粗鬆症（こっそしょうしょう）デー2023（毎年10月20日）

骨粗鬆症の予防と治療の必要性を広く患者さんや地域の皆さまにお伝えします。



期間：2023年
10月16日（月）～20日（金） ※終了しました
場所：京都医療センター1階エントランスホール

テーマ「体験・実感」

ポスター展示、フードモデル展示のほか、毎日日替わりで測定会などイベントや講演会を行います。ぜひお立ち寄りください。

薬剤師がお薬の疑問を解決！

お薬トリビア

薬剤部 小田 亮介



お薬を飲んでいて疑問に思うことはありませんか？患者さんからの「よくある質問」についてQ&Aでお答えします！

Q グレープフルーツジュースとお薬は相性が悪いって聞きました。私はたくさんの種類のお薬を飲んでいるので、グレープフルーツジュースは摂らない方がよいでしょうか？

A グレープフルーツ（特に皮）に含まれる成分によって、一部のお薬（※）の分解が抑えられてしまい、お薬の効果が強く現れることがあります。影響の度合いはお薬によって様々です。普段からグレープフルーツジュースを摂取する頻度が多い方は、薬剤師にご相談ください。



※グレープフルーツジュースと相性が悪いと報告されているお薬の例

- 高血圧や狭心症の治療に使われるお薬の一部
- コレステロールを下げるお薬の一部
- 免疫抑制薬の一部



グレープフルーツの他に、はっさく等も同様の注意が必要ですが、温州みかんやオレンジ、レモンなどは問題ありません。

次回のお薬トリビアも「よく質問があること」についてお届けします

\ シリーズINTERVIEW / Personality 岸本 香織さん

FM845「カラダ元気」出演報告

FM845 京都リビングエフエム
毎月最終火曜日 14:05～14:30 放送
過去の放送はこちらから

今後の放送予定（終了しました）

2023.7.25	看護部長 髙田 幸千子
2023.8.29	医療安全看護師長 浅井 真由美
2023.9.26	脳神経外科医長 早瀬 睦

2023.4.25 呼吸器内科医長 橘 洋正	2023.5.30 緩和ケア病棟看護師長 武田 ヒサ	2023.6.27 糖尿病内科診療科長 小倉 雅仁
「呼吸器に関わる病気について」	「がん患者さんの痛みについて」	「糖尿病について」
呼吸器内科で扱う主な疾患についてお話しいたしました。呼吸でお悩みの方は早めの受診をお勧めします。	痛みを我慢せず早めに適切な治療を受けることで、生活の質を保つ事にも繋がることをお話しいたしました。	糖尿病とはどのような疾患か、治療にはどのようなものがあるかについて、お話しいたしました。